

単元名 花から実へ  
評価規準とUBシート

単元スタート

植物の花のつくりの違いに気付き、それぞれのつくりや実のでき方を調べることを通して、結実の条件に何が  
必要か考え、それを確認するための方法を予想や仮説をもとに見いだす。児童は、これまでアサガオやヘチマ  
を育ててきており、できた実や種子の収穫する基本的な事項を経験してきている。

	学習活動		情報活用能力のステップ	評価規準		
	知	思		態		
第一次	1	 <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘチマやアサガオの花と実の資料写真を見て、ヘチマやアサガオの花のつくりついて問題を見いだす。</li> <li>ヘチマとアサガオの花のつくりを調べる。</li> </ul> (観察1)	情報の収集と検証 観察による	・②		
	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘチマやアサガオのおしべの働きを考え、花粉を顕微鏡で観察する。</li> </ul> (観察2)	○②	
	3	 <ul style="list-style-type: none"> <li>両性花と単性花の花のつくりと結実部分、花粉についてまとめる。</li> </ul>	比較や分類の情報の整理		○①	
	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み、受粉することや花粉の運ばれ方について捉える。</li> <li>受粉と実のでき方との関係を調べるための方法を考える。</li> </ul>		
第二次	5	 <ul style="list-style-type: none"> <li>受粉と実のでき方との関係を調べるための正しい方法をエラーから考える。</li> </ul>	実験による情報の収集と検証		○②	
	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉の働きを調べる。</li> </ul> (実験1)	・①	
	7	 <ul style="list-style-type: none"> <li>受粉と実のでき方についてまとめる。</li> </ul>	比較や分類の情報の整理	○①		・②
	8					

単元ゴール

結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の花のつくりや実のでき方を調べることを通して、結実の条件についての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決することができる。

<ゴールの具体的な姿>

- ・結実に受粉が必要だとすると、調べるには受粉した花としない花を用意しないと分からない。
- ・実験をする時に自然に受粉してしまわないようなくふうが必要だと分かった。
- ・植物の結実には受粉が必要であり、植物の命が繋がっていくことがわかった。大切にしていきたい。